ダムニュース

［法　　人　名］一般財団法人ダム技術センター
［郵 便 番 号］〒110-0008
［住　　所］東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F
［電　　話］03-5815-4161
［ F A X ］03-5815-4162
［ webサイト ］http://www.jdec.or.jp/
［電子 メール］damnews@jdec.or.jp

この号の内容

1　津軽ダム“低水管理賞”授与式を実施

2　ニシメヤ・ダムレイクツアー *Special*

3　Dam news　投稿記事募集

4　図書販売

津軽ダムの栄誉に喜びの一枚

▲関西目屋村長から祝辞が述べられました。

▲意見交換会で長内事務所長より令和元年度の“渇水”の状況を説明。

▲日本ダムアワード総合プロデューサーであり選考委員でもある“萩原”さん。ダムへ向き合う姿勢が真剣です。

▲ダムマイスターで日本ダムアワード選考委員のハンドルネーム“炭素”さん。津軽ダムとは長い付き合いです。

▲様々な提案や期待を受け止める長内事務所長

▲贈られた記念楯は津軽ダム資料展示室に飾られています。

日本ダムアワード２０１９ 低水管理賞 受賞

GOOD DESIGN AWARD 2017年度受賞

津軽ダム“低水管理賞”授与式を実施

～日本ダムアワード　2019～

国土交通省が管理する一級河川岩木川水系岩木川上流部に位置する“津軽ダム”（青森県中津軽郡西目屋村）が、『日本ダムアワード2019（主催：日本ダムアワード選考委員会）』において“低水管理賞”を受賞しました。この受賞にあたり、去る令和２年２月２５日(火)、岩木川ダム統合管理事務所会議室で授与式を執り行いました。授与式には、日本ダムアワード選考委員の萩原雅紀（ダムライター・ダム写真家）様、炭素（ダムマイスター）様や、関和典西目屋村長を始めとする村の関係者、当事務所職員などが出席しました。

授与式では、日本ダムアワード選考委員の萩原様よりお祝いの言葉とダムアワード設立の経緯などをお話しいただきました。続いて、関村長から「立地村の代表としても大変光栄です。2015年に目屋ダムが同じ低水管理賞を受賞しており、津軽ダムと合わせて“親子受賞”ということは、ダムの立地村としてもとても嬉しく思います。ダムがあるおかげで地域が輝いていると言われるようこれからも連携して頑張っていきましょう。」とご祝辞をいただきました。その後、萩原様から長内事務所長へ受賞記念の楯が贈られました。授与式後に行われた意見交換会では長内事務所長が、昨年の渇水対応の説明を行い、また、「西目屋村と連携して地域振興につながる施策を打ち出していきたい。これからもタイムリーに情報発信をして、（ダム愛好家の）皆様を飽きさせないような機会を作っていきたい。」と今後の抱負を述べました。

津軽ダムは、令和元年度５月から７月の記録的な少雨の中でも関係者と連携しつつ適切な利水供給を行った管理運用が評価されて低水管理賞を受賞しました。平成27年に低水管理賞を受賞した目屋ダムの再開発事業である津軽ダムが受賞したことにより、全国初の“親子受賞”となり目屋ダムは大きな子を産んだと話題になっています。

（東北地方整備局　岩木川ダム統合管理事務所）

●日本ダムアワードとは？

一年間のダムの活躍を振り返り、ダム愛好家有志による選考委員が様々な角度から活躍したダムをノミネート。選考委員と観客の皆さんによる投票で、各部門で今年もっとも印象に残る働きをしたダムを選出し、その功績を讃えよう、というイベントです。

（“日本ダムアワード”ウェブサイト　http://japandamaward.org/）

◆記念楯を手に記念撮影に応じる関西目屋村長（左）、長内事務所長（中）、萩原様（右）

津軽ダムイメージキャラクター ペッカー君

津軽白神湖 Tsugaru-Shirakami-Lake

▲風を感じ“爽快感抜群！”
素晴らしい景色を堪能！

▲大迫力の“スプラッシュ”
この瞬間がたまりません！！

▲ダムの上（取水塔）を案内している一コマです。皆さん、真剣！

▲ダム堤体内部の“急な階段”です。
皆さん、慎重です！

▲ダム堤体内部での説明です。
濁水への対策って何！？

▲ダム見学終盤、ダムを見上げて大きさを実感していただきます！

日本ダムアワード２０１９
低水管理賞 受賞

ニシメヤ・ダムレイクツアーSpecial

～令和2年度は毎月2回！
津軽ダム見学付きのスペシャル運行が増便！～

国土交通省が管理する一級河川岩木川水系岩木川上流部に位置する“津軽ダム”（青森県中津軽郡西目屋村）のダム湖“津軽白神湖”で、平成２９年４月から運行されている水陸両用バス『津軽白神号』による“ニシメヤ・ダムレイクツアー”が今期は４月２９日（水・祝日）から運行を開始する予定です。

また、昨シーズンからの新しい試みとして実施した『ダム堤体内部特別見学＋水陸両用バス乗車』のツアー企画が大変好評であったことを受け、今シーズンは毎月２回の運行を決定しました。『ニシメヤ・ダムレイクツアーSpecial』は、令和２年５月８日（金）から１０月２３日（金）まで毎月２回、午前と午後で１日２回実施されます。

乗車の予約は、令和２年４月２日より（一財）ブナの里白神公社「津軽白神ツアー」で受け付けております。詳細な運行日、所要時間、料金、注意事項等は、**別添『チラシ』**をご覧ください。

（東北地方整備局　岩木川ダム統合管理事務所）

GOOD DESIGN AWARD
2017年度受賞

●春先の“津軽ダム・津軽白神湖・世界自然遺産白神山地”

津軽ダムイメージキャラクター
ペッカー君
津軽白神湖
Tsugaru-Shirakami-Lake

毎月2回！津軽ダム内部見学付き！スペシャル運行！

水陸両用バス乗車 ＆ 津軽ダム内部見学

※写真は全てイメージです。

運行日

2020年
（毎月2回）

5月 8日(金)・5月22日(金)
6月12日(金)・6月26日(金)
7月 3日(金)・7月17日(金)
8月 7日(金)・8月21日(金)
9月11日(金)・9月25日(金)
10月 9日(金)・10月23日(金)

受付・のりば

道の駅 津軽白神
インフォメーションセンター
（津軽白神ツアー）
（カーナビには「ビーチにしめや」と入力してください。）

運行ダイヤ　（各便定員38名／最少催行人数1名）

発車時刻の15分前までに乗車手続きをお済ませください。

スペシャル運行	
第1便	9:30
第2便	13:00

≪スケジュール≫　※ダム内の見学は約100段の階段の昇り降りがあります。

道の駅 津軽白神 ===(約20分)=== 津軽白神湖パーク～～～(遊覧：約20分)～～～津軽白神湖パーク ===

===(約10分)=== **津軽ダム**(天端・ダム内、監査廊を徒歩にて見学)===(約10分)=== 道の駅 津軽白神

所要時間　約130分（陸路：約20分×2、水上：約20分、ダム見学：約70分）

乗車料金　（お一人様料金／消費税込み）

大人(中学生以上)	3,000円
小人(小学生)	2,000円

ご予約・お申込みについて

- 電話予約：乗車ご希望日の 前日、17：00まで受付
- Web予約：乗車ご希望日の 3日前まで受付
- 座席に空きがある場合は、当日の受付も承ります。
（出発時刻の１５分前まで）

予約開始スケジュール

ご乗車希望日	5/8・22 6/12・26	7/3・17	8/7・21	9/11・25	10/9・23
予約開始日	4/2(木)	5/1(金)	6/1(月)	7/2(木)	8/1(土)

【ご注意】
- ダム内では安全の為、お子様を抱っこしたままで見学は出来ません。その為、 乳児・幼児の方のお申込みはお受けしておりません。
- サンダル・かかとの高い靴では見学できません。
- お酒に酔った状態での見学は出来ません。

運行主体：西目屋村　陸上・水上運行：白神観光バス(有)　旅行企画・実施：津軽白神ツアー

お申込み
お問合せ

青森県知事登録旅行業第3－153号　(一社)全国旅行業協会正会員
(一財)ブナの里 白神公社
津軽白神ツアー

☎ 0172 - 85 - 3315
Fax 0172－85－3316
水陸両用バス専用ホームページ：https://suirikubus.jp

営業時間
9：00～17：00
定休日：水曜日

ダムレイクツアー　検索

Dam　news　投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。
内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。

1．イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）

2．小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）

3．ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）

4．ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）

5．ダム周辺の自然紹介

6．ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）

7．研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）

8．水害・地震等報告

9．ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、
ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

［法人名］　一般財団法人　ダム技術センター『ダムニュース』　編集事務局
［郵便番号］〒110-0008
［住所］東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
［担当者］企画部　ダムニュース担当
［電話］03-5815-4161
［FAX］　03-5815-4162
［電子メール］damnews@jdec.or.jp

図　書　販　売

1.　ダム技術
・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）
平成31年4 月号（No. 391）～9月号（No. 396）　1,260円（税別・送料込）
10月号（No. 397）～令和2年3月号（No. 402）　1,273円（　〃　）

2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）
・平成17 年 6 月発行 A4 判 88,200 円（税込・送料別）

3. RCD工法技術の進歩
・平成17 年 12 月発行 A4 判 4,500 円（税込・送料別）

4. ダムの安全管理
・平成18 年 5 月発行 B5 判 2,000 円（税込・送料別）

5. 台形CSG ダム施工・品質管理技術資料
・平成19 年 9 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）

6. 地質現象とダム
・平成20 年 6 月発行 A4 判 7,000 円（税込・送料別）

7. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術
・平成22 年 8 月発行 A5 判 6,000 円（税込・送料別）

8. ダム工事積算の解説 平成23 年版
・平成23 年 5 月発行 A4 判 1,900 円（税込・送料別）

9. 改訂版　巡航RCD工法施工技術資料
・平成24 年 2 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）

10. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料
・平成24 年 6 月発行 A4 判 3,000 円（税込・送料別）

11. ダム基礎における立体的岩盤透水性分布の把握手法
・平成25年 5 月発行 A4 判 5,000 円（税込・送料別）

12. ダム技術Q&A－総集編－改訂版Ⅰ
・平成27年3月発行　A4判 3,000円（税別・送料別）

13. ダムの地質調査―ボーリング・調査坑・トレンチ―
・平成27年3月発行　A4判 6,000円（税込・送料別）

14. ダム工事積算の解説（平成28年度版）
・平成28年5月発行　A4判 2,500円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。
お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。
申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

［法人名］　一般財団法人　ダム技術センター　図書販売
［郵便番号］〒110-0008
［住所］東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
［担当者］図書販売担当
［電話］03-5815-4161
［FAX］　03-5815-4162
［電子メール］books@jdec.or.jp

図書注文書

一般財団法人ダム技術センター図書販売担当宛

FAX（03-5815-4162）

下記のとおり注文します。

No	書籍名	部数
1		
2		
3		

＊公/私どちらかに〇をお付け下さい。 公→宛名（会社名）　私→宛名（申込者名）となります。	公・（宛名（会社名））　私・（宛名（申込者名））		
申込者 （ご氏名）	ふりがな		
会社名			
事務所名・ 部署名			
所在地	（〒　　－　　）		
TEL		FAX	
E-mail			
通信欄			

◆ご注文の商品は、3 日～10 日程度でお手元に届きます。

◆請求書、納品書、見積書は、商品とは別途郵送にてお届けいたします。(到着日は、商品と1 日程度誤差あり)

◆代金お支払いについて、郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。なお、銀行振込でお支払いされる場合には、お手数ですがお振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAX もしくは通知状)にてご通知下さい。

◆銀行振込の手数料は、お客様のご負担となります。ご通知がない場合、代金が振り込まれても未払い扱いとなり、後日再請求する可能性があります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◆特定の様式による請求書等をご希望の際は、注文書、指定請求用紙などを同封の上、郵便もしくはFAX、E-mail等にて上記の問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、郵便によるご注文の場合、商品到着までに通常より日数がかかりますのでご了承下さい。

［法人名］　一般財団法人　ダム技術センター　図書販売
［郵便番号］〒110-0008
［住所］東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
［担当者］図書販売担当
［電話］03-5815-4161
［FAX］　03-5815-4162
［電子メール］books@jdec.or.jp